

「働く女性を考える」中学生職場訪問の受け入れ

イトーヨーカドー

2015/8/11

イトーヨーカドー HLDGS.

CSRアクション

四ツ谷本部近くの麹町学園女子中学校より、「女性として社会とどのように関われるか考えることを目的に職場訪問をしたい」とのご依頼があり、未来の社会を担う中学生に、少しでもお役に立てればとお引き受けしました。

7月23日(木)に学生の皆さまが来社され、ダイバーシティ推進プロジェクトの女性メンバー3名からそれぞれのキャリアや家族について、お話ししました。

普段、私自身は男性・女性ということをあまり意識せずに働いているので、特別なことはお伝えできなかったかもしれませんが、学生の皆さまから、女性ならではのライフステージに対応する会社の制度についての質問も多く、若い世代へ続く働きやすい職場環境作りは、ますます求められていると感じました。



イトーヨーカドー
CSR推進室 兼
ダイバーシティ推進PJメンバー
合田 悠理子

働く女性の社会的な課題に対するイトーヨーカドーの取り組みを伝えました



学生の皆さまは今回の職場訪問前に、イトーヨーカドーの店舗を視察されていました。当日は、社員からイトーヨーカドーで働く女性従業員の割合や育児に関する制度（休職、短時間勤務などの支援制度）、女性管理職比率、仕事内容について説明しました。

学生の皆さまには、社員の話を熱心に聞いていただき、また、質疑応答の時間では積極的に質問をされていた、真剣なまなざしに感動しました。





安全・安心や上質の追求、環境にも配慮して開発した「セブンプレミアム」を紹介。また、セブン&アイが取り組んでいる「オムニチャネル」について説明しました。



勉強や就職、働き方、将来の目標など、女性社員の学生時代から現在までの経験談を、事前に受け付けた質問への回答を踏まえてお伝えしました。質疑応答では、大変多くの質問を積極的にいただき、最後に学生の皆さまから感想や今後の目標についてお話しいただきました。